

協豊会東海地区活動

経営リスクマネジメント講演会を開催

『混沌の中で日本は、日本企業は如何に生き抜くか?』



【講師 真田幸光氏】

講師「真田幸光」氏 プロフィール

愛知淑徳大学ビジネス学部・研究科教授

東アジアを中心とする海外ビジネス事情と経済の動向に精通、足で歩いて集めた豊富な現地情報を誇る。
慶應義塾大学法学部政治学科卒業後、東京銀行入行。
韓国延世大学留学。
東京三菱銀行ソウル支店長代理。
ドレスナー銀行東京支店部長。
愛知淑徳大学教授。
社会基盤研究所員、日本各付研究所員他の活動多数。
戦国武将「真田幸村」の実兄、「真田信之」の子孫。

協豊会東海地区は2017年2月22日（水）、名古屋市のウェスティン・ナゴヤキャッスルホテルにおいて、講師に愛知淑徳大学ビジネス学部教授「真田幸光」氏をお招きし、東海地区会員会社トップや担当役員など200名近くの参加のもと、『混沌の中で日本は、日本企業は如何に生き抜くか?』をテーマに、経営リスクマネジメント講演会を開催しました。

講演は、真田家のモットー「死ぬまで生きよ」から始まり、世界の政治・社会・金融情勢のリスクについて、またそのリスクにどのように対応していくべきかを懇切丁寧に解説していただき、さらに新しい米国大統領就任後の影響や懸念について詳細に述べられ、全員が最後の質疑応答を含め、予定時間を越えて最後まで熱心に聞き入っていました。



【演壇から降りて講演される真田氏】



【熱心に聴講する参加者】